

創刊100周年 二月特大号

文藝春秋

大正十二年一月三十日第三種郵便物認可
令和五年二月一日発行 毎月一回一日発行 第一〇一巻第二号二月十日発売



鉛温泉 (岩手県)

宮沢賢治は出湯の宝庫である花巻に生まれ、生涯、温泉郷と深く関わった。幼少より

当地の温泉に通う小佐野氏は「この温泉郷そのものが彼にとつてイーハトーブ、桃源郷ですね」と説く。

鉛温泉・藤三旅館も賢治と縁のある宿で

田宮虎彦が小説を執筆したことでも知られる。

ここでは「立ち湯がおすすめ」と小佐野氏。

深々とした岩湯船の中へゆつくり立ち入れば足元から湧き上がる湯が全身を伝う。

名物の立ち湯「白猿の湯」は深さ約1.25m。
天然の岩を人力で掘った湯船も野趣に富む